

しらゆり連合自治会の防災訓練

(しらゆり地区)

しらゆり連合自治会としての防災訓練は、毎年11月、しらゆり公園において、区役所や消防署、消防団の協力の下に行われます。小規模な火災に対する訓練を意識したものになっていますが、これは、この地域が、木造密集住宅地区に指定されているからです。

連合自治会内5地区からの参加者約100名の参加訓練から始まって、まずは、集会所ホール内で、1時間

の研修を行います。地域の特性や、最低限知っておいてもらいたい防火防災の知識を学んでもらいます。

それが終わってから、実地訓練です。煙体験をスタートに、各種の実地訓練を行います。今年は、横浜市の防災ライセンス資機材取扱指導員の方々にお願いし、スタンドパイプ式消火器具の消火栓をつなぐところから放水までの体験や AED 操作を含めた心肺蘇生訓練、その他防災機器操作の細かい指導を受けました。

又、起震車に乗り震度7を体験しました。

毎年1月に行われる、領家中学校に於ける、隣接する地域と合同の大規模自然災害を対象にした拠点防災訓練とは特徴を異にし、それぞれの訓練の意義を高め、防災意識を共有することに努めております。

(しらゆり連合自治会 会長 はやし よしひろ 林 純弘さん)

問合せ：地域活動支援担当

TEL.045-800-2391 FAX.045-800-2507

広報よこはま 平成29年1月号より

掲載内容は発行時のものでありますので、現在と内容が異なる場合があります。

